

夏休みこども村 収穫体験楽しむ

掲載日：令和7年8月7日（木）

J A東京みなみは7月下旬、管内の日野市、多摩市、稲城市で夏休みこども村を開いた。管内在住の小学3年生から6年生までの18人が参加し、マイクロバスで管内3市を回り、農産物の収穫体験をした。

稲城市の畑で礒川節男さん（48）にナスの収穫目安や方法を教えてもらい、1人3個ずつ収穫。多摩市内の新倉農園・新倉隆さん（62）のブルーベリー畑では、おいしいブルーベリーの見分け方を教えてもらいながら摘み取りをした。日野市では、J Aが組合員から貸借し管理している畑で、ピーマンと中玉トマトの収穫をした。

昼食は、J A日野支店でJ A職員が作ったオクラやジャガイモなどの地場野菜をたっぷり使ったカレーライスとサラダを、J A小林和男組合長と子ども達と一緒に味わった。



中玉トマトの収穫体験をする参加者（東京都日野市で）